

第64回 教育科学研究会全国大会・関西大会 @大阪暁光高校

(略称:教科研関西大会)

主催:教育科学研究会・教科研関西大会実行委員会

後援:河内長野市教育委員会



あきらめへんで! みんなで作る オモロい学校

2026年 8月 8日(土) 9日(日) 10日(月)



「学校」は教師と子どもが出会う場所。子どもたちが出会う場所。子どもたちを取り巻く様々な医療や福祉等々の機関が出会う場所。子どもたちの家族や、暮らし、なりわい、生い立ち、文化が持ち込まれる場所。

多様な声が響き、問いがこぼれ出るところ。よくわからないこともたくさんあるところ。それぞれの物語を「オモロい」なあって認め合わなければ、すり減ってしまうところ。「オモロい」は、なんやようわからんけど、あなたの言葉は、大切にさせてもらいまっせって感じ。一列に並べたら、隅っこかもしれんけど、つくづく眺めたら、いい味出してはんなあって、うれしくなる感じ。あなたの今を寿ぐ感じ。

「オモロい」を詰め込んだ大会にしましょう!

スケジュール

8日(土)

- 10:00-12:00 教科研講座 (対面)
- 13:30-17:00 はじめの集い (対面・オンライン)
- 17:30-19:00 交流会 (はじめの集いの会場)



仲間と出会い
語り合って交流♪

9日(日)

- 9:30-17:00 分科会 (対面・オンライン)
- 17:15- 教科研総会 ※会員のみ

第6分科会は
対面のみ



10日(月)

- 9:30-12:00 教育問題フォーラム (対面・オンライン)
- 13:00-15:00 おわりの集い (対面・オンライン)

はじめの集い

8月8日(土) 13:30 ~ 17:00 (対面・オンライン)

- 第一部 大阪暁光高校生のパフォーマンス(予定)(対面)
- 実行委員会バンドによるオリジナル大会テーマソング演奏と合唱
- あいさつ 大阪暁光高校学校長 藤井 喜嗣さん / 関西大会実行委員長 石本日中和
- 第二部 開催校あいさつ 大阪暁光高校理事長 谷山 全さん
- 基調報告 教科研委員長 片岡洋子
- 講演とトーク 生田武志さんの講演と大阪暁光高校FTC(フリー・ザ・チルドレン)との対談

まじぞ!



▶ 生田さんは1988年から釜ヶ崎の「山王こどもセンター」で地元の多くのこどもたちと関わり、2001年から全国各地の学校で「貧困と野宿を考える授業」を400回近く行ない、数年前から主に10代~20代からのチャット相談に関わり、こどもたちと主に「学校と社会」をつなぐ場所に関わってこられました。その経験から「学校・家庭を社会に開く」お話しをしていただきます。

【生田さんのプロフィール】

1964年6月生まれ。同志社大学在学中から釜ヶ崎の日雇労働者・野宿者支援活動に関わる。2000年「つぎ合わせの器は、ナイフで切られた果物となりえるか?」で群像新人文賞評論部門優秀賞。2001年から各地の小、中、高校などで「野宿問題の授業」を行なう。野宿者ネットワーク代表。「ホームレス問題の授業づくり全国ネット」共同代表。「フリーターズフリー」編集発行人。

【著書】

『野宿者襲撃論』(人文書院) 『貧困を考えよう』(岩波ジュニア新書)
『おっちゃん、なんで外で寝なあかんの? - こども夜回りと「ホームレス」の人たち』(あかね書房)
『釜ヶ崎から 貧困と野宿の日本』(ちくま文庫) 『いのちへの礼儀—国家・資本・家族の変容と動物たち』(ちくま書房) など





講演テーマ

「学校を社会に開く」
生田武志さん





教科研講座

8月8日(土) 10:00~12:00 (対面のみ) 大会本番開始前に、教育と文化の視野を広げましょう!

	講座名	内容	世話人
講座1	私の教室物語から始めよう	教科研大会を丸ごと楽しむために、私の物語から始めませんか? 大会歌も練習します。	花山康裕(岐阜) 山崎隆夫(神奈川)
講座2	 哲学対話で教育学入門	哲学対話で考え議論する、教育実践者のための教育学入門です。神代健彦(京都教育大学)がファシリテートします。専門知識は不要、教師以外も大歓迎です。	神代健彦(京都) 近藤真理子(大阪)
講座3	大阪暁光高校実践入門	会場校の大阪暁光高校が積み上げてきた実践について学ぶ講座。 	竹内意織(大阪) 寺尾昂浩(神奈川)
講座4	なにわ散歩(大阪案内) ~釜ヶ崎・コリアタウンに学ぶ~ 	西成区釜ヶ崎(行政名あいりん地区)、生野区鶴橋・コリアタウンをめぐる学んだことを紹介します。日本最大の日雇い労働者の街。大阪で最も活気のある街について来阪時のご参考に。	今滝憲雄(大阪) 龍神美紅(和歌山)
講座5	地域で人と人のおもしろい出会いと交流を創り出す	八王子市の団地で30年間続く「みなみ野自然塾」と兵庫県加東市でのユニークな雑誌『地元人』刊行。二つの地域の取り組みが会おうと何が起るのか? 	佐藤年明(京都) 古里貴士(神奈川)




交流会

8月8日(土) 17:30~19:00 (対面のみ)

 みんなでつくろう、オモロイパーティ!
はじめの集いの熱気が残る会場で、全国の仲間と語り合いませんか? 歌い、出会い、つながる新しい形のプログラムです。
ノンアルコールの飲み物と軽食を用意してお待ちしています。





分科会

8月9日(日) 9:30~17:00 (対面・オンライン) ※第6分科会是对面のみ・第12分科会は休会
各分科会の詳細(報告者と内容)は決まり次第、大会HPでお知らせします。

	分科会名	テーマ	世話人
1・16 合同	子どもの生活と文化/ 現代の子育てと親・おとな	今を生きる子どもの声と姿、そこにおとなは…	泉 宜宏(東京) 渡邊由之(大阪)
2	青年期の教育	「無償化」時代の公教育を問い、学校内外に豊かな青年期の教育を 	児美川孝一郎(東京) 武永隆幸(大阪)
3	能力・発達・学習	「育ちのものがき」に目を凝らす、耳を澄ます	神代健彦(京都) 前田晶子(神奈川)
4	身体と教育	生命に係わる学習としての“遊び” 	山本晃弘(神奈川) 野田 耕(福岡)
5	美的能力と教育	出会いから表現へ ドラマ・造形文化・LLブック	北川健次(滋賀) 山田康彦(三重)
6 対面のみ	ことばと教育	主体的な学びをつくることばの教育	神郁雄(東京) 寺井治夫(京都)
7	社会認識と平和	分断する世界に抗う平和・人権教育の今 	一盛 真(鳥取) 今滝憲雄(大阪)

	分科会名	テーマ	世話人
8	自然認識と教育	子ども・青年の生活実感・自然経験は、いま？ 	三石初雄(東京) 谷 哲弥(京都)
9	道徳性の発達と教育	排除と分断を越えて子どもの道徳性をどう育むか	櫻井 歓(東京) 佐藤年明(京都)
10	教育課程と評価	教育実践に生き、育てる教育課程と評価	近藤真理子(大阪) 本田伊克(宮城)
11	学校づくり	いまを生きる子どもと共に学校をつくる 	嵯峨山 聖(大阪) 田沼 朗(東京)
13	政治と教育	子ども・若者をとりまく社会の課題と公教育の未来	寺尾昂浩(神奈川) 福田秀志(兵庫)
14	性と教育	子ども・若者の権利と性 	菅野真文(北海道) 溝部宏文(大阪)
15	発達障害と教育	子ども理解の深化と自己の育ちを支える実践の追求	久保由佳(大阪) 窪島 務(滋賀)
17	教師の危機と希望	教師のやりがいと専門性を考える 	霜村三二(埼玉) 山崎隆夫(東京)
18	教室と授業を語る	入澤佳菜さんの実践から授業づくりの見直しを探る	石垣雅也(北海道) 大日方真央(三重)

8月10日(月) 9:30~12:00 (対面・オンライン)

	フォーラム	内容	世話人
A	次期学習指導要領改訂と私たちの課題	教育課程の基準と位置付けられている学習指導要領改訂に向けた作業が進んでいます。私たちは教育課程とはどのようなものであるべきかを根本から考えます。	井上大樹(北海道) 本田伊克(宮城)
B	誰もが幸せな学校へ—「働き方改革」を本物に	学校現場の「働き方」が多くの深刻な問題を生み出しています。フォーラムBに集い、子どもも教員も幸せな「本物の改革」をともに探っていきましょう。	杉浦孝雄(東京) 寺下 岬(大阪)
C	 気候危機と教育	深刻な気候変動が地球規模で進行している現在、教育になにができるでしょうか。本フォーラムでは、グローバルな観点からわたしたちの課題を考えます。 	大日方真央(三重) 三谷高史(宮城)
D	AI時代の子どもの教育	AIは教師を必要としなくなるのか。学ぶ意味は何か。『教育』2月号から始まった企画がフォーラムへ！ AI時代の子どもの教育について一緒に考えましょう 	荒井嘉夫(東京) 山本宏樹(東京)
E	学生目線で大学生活と授業を語ろう！ 	学生の皆さんに日頃の大学生活や授業について、考えていること言いたいことを自由に語っていただく場です。教員は聞き役に回りますから、遠慮なく！	近藤真理子(大阪) 佐藤年明(京都)
F	学校の「男性性」を問う	『学校の「男性性」を問う』が半年で重版になりました。不登校やいじめが増加し続ける学校の構造を「男性性」の視点から問い直し、「弱さ」をケアし合う学校を考えあいます。	石本日和子(兵庫) 菅野真文(北海道)

8月10日(月) 13:00~15:00 (対面・オンライン)

おわりの集い

テーマ

子どもが通いたくなる学校とは
— 学校の意味を問い直す



会場アクセス

会場 大阪暁光高校
大阪府河内長野市楠町西1090



access

南海高野線「千代田駅」下車・徒歩10分
(「なんば」から区間急行で「千代田」まで30分)

アクセスの詳細は
QRコードから!



アクセスQRコード

お申込み

教育科学研究会ホームページ大会特集ページからPeatixを利用して、参加のお申し込みと、参加費を納入してください。

教科研大会HP ▶ <https://kyoukaken.jp/fes>

教科研大会HP
はこちらから!



いそいそげ



教科研大会HPのQRコード

参加費

	教職員(常勤)	一般(保護者・市民・退職者など)	学生・院生
全日参加	5000円(会員は500円割引)	4000円(会員は500円割引)	1000円
1日参加	3000円(会員は500円割引)	2000円(会員は500円割引)	高校生以下 無料

交流会 2000円 (学生・院生は 1000円)



上履さと、靴を入れる袋
をご持参ください

会場では
焼けません



その他

昼食 食堂利用やお弁当の用意はございません。各自でご用意ください。

宿泊 南海高野山線沿線の「なんば」「新今宮」「堺東」などの周辺ホテルを各自でご予約下さい。

キッズルーム [対象] 3歳~小学生 / ご利用のお申し込みは7月22日まで。
参加申込後に配信されるグーグルフォームからお申し込みください。
詳細は教科研 kyoukaken@nifty.com にお問い合わせください。

宿泊ご予約は
お早めに!



お問合せ

お問合せ先 教育科学研究会
〒162-0818 東京都新宿区築地町19小野ビル2階
電話&Fax 03-3235-0622 (金曜13:00-17:00)
Email kyoukaken@nifty.com



デザイン 9カハシアイ